

がくしゅうかだい（2ねんせい）

【国語】おうちの人とけいかくをたてて、すこしずつすすめていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「ともだちをさがそう」（きょうかしよ 34～37 ページ）にとりくみます。

① 35 ページの絵の中から、次の3人を見つけます。

- ・ 白いふくをきていて、水色のふくをきた赤ちゃんをだっこしている男の人。
- ・ オレンジ色のふうせんをもち、赤のしましまのふくをきた子。
- ・ 白いぼうしをかぶり、水色のワンピースをきて、めがねをかけている子。

② 35 ページの中からひとりきめて、見つけてもらえるには、どのように話したらよいか考えて書きましょう。

※書けたら、つぎの人もきめ、なんどもやってみましょう。おうちの人にクイズをだしてみるのもいいですね。

（例）わたしが^{れい}見つけてほしい人は、きいろいふくをきて、ひとりでソフトクリームをもっている人です。

◆きょうかしよ 34～37 ページまでに出てきたあたらしいかん字「話」「聞」とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・ 「ともだちをさがそう」は実際に話したり聞いたりする学習です。お子さんと P35 の絵を見ながら「探し当てクイズ」のような活動ができると、より効果的な学習になります。
- ・ 実際に人を探すときは、場所が分からないことが前提となります。お子さんの文章や話の中に、場所に関わる情報が出てきた場合、（木のとなり、観覧車の中など）「場所以外で分かるヒントは？」と聞き、別の特徴などに目を向けさせてください。
- ・ ②でお子さんが書いた（話した）文章をヒントに、人物を探してみてください。正解した場合は、「〇〇の言葉で分かったよ」、分からなかった場合は、「〇〇と書いて（話して）くれた方が分かったよ」と声をかけてあげてください。



さんすう
【算数】

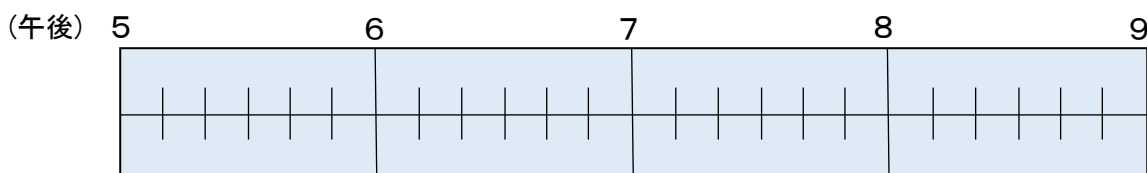
「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

＜勉強すること＞

こんしゅうのべんきょうも、じぶんでとけいを見ながら、かんがえるよ。

◆時こくと時間（教科書20～21 ページ）

- (1) 教科書20 ページの①の問題で、㊸から㊹のことを 何時何分に 何をするかを 考えて、下の図に㊸で時間を 書きいれましょう。



- (2) 自分の やりたい ことを 考えて、時こく や 時間を 入れて 一日のスケジュールを つくってみよう。
- (3) 教科書21 ページの もんだいを ノート や 取組シートに やつて、「時こくと時間」の勉強をふりかえろう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆時こくと時間（教科書 P20～21）

- ・教科書 p20 のテープの図に、時間を書き入れる取組は、時刻と時刻の間の長さが時間を表すということを、捉えさせる上で有効です。時刻と時間の違いが分かりやすくなります。
- ・休みが長期になりますので、2年生なりに、1日の過ごし方を考え、時刻と時間を捉えるためのきっかけになればと思います。

[1日のスケジュール]（ 月 日）

	時刻	やりたいこと
午前	9:00	
	10:00	
	11:00	
午後	12:00	
	1:00	
	2:00	
	3:00	
	4:00	
	5:00	
	6:00	
	7:00	